

熟議 R1. 12. 10

第7回熟議「地域みんなで美山の子どもたちの未来を考えるワークショップ」

3年前から始まった熟議は今回で7回目となりました。地域、学校、保護者が一緒になって子どもたちの未来を考えることで、思いを共有して学校教育、社会教育、家庭教育の現場において同じ思いで取り組むことをめざします。

地域で学びを実践する方、子育て支援活動をされている方たちと一緒に考えること 7回目の熟議の特徴は



参加者は小中学校教職員、保護者、地域の方を含む約50名です。過去6回の熟議で話し合われた内容をもとに、5つのテーマを設定し、それについてどのような体制で取り組めるか、より具体的に考えました。※詳細は小学校HPに掲載

自然・環境

課題・ねらい

美山に居ながら(機会があるのに)自然を知らない、体験不足⇒自然体験を通して危険をも学ぶ、チャレンジ精神を養う

具体化 川遊びなどを通して、危険を学び、リスク回避できる力をつける、既存の地域プログラムをよりよく活用、大人がリスクを負うことを恐れない



食

課題・ねらい

食育の日常化、食の実践を通じた学び、農、食、自然のつながり、循環から学ぶことの重要性

具体化 道草できる、食べられる校庭、地域の力を総動員した活動



体力

課題・ねらい

子どもの体力低下生活環境の変化、バス通学⇒日常生活体験から体力向上

具体化 美山独自の生活に即した運動体験を通して、自然に体力がつく、登れる木、遊べる森(アスレチック)などの環境づくり



課題・ねらい

多様性を学ぶ、環境を活かしたコミュニケーション能力向上

具体化 民泊や外国人観光客との交流による、国際理解、生きた英語教育、校外での小さな成功体験の積み重ね、英語ガイド、ツアー企画



国際理解

課題・ねらい

農業に対する意識の変化、農を維持するための課題、学校での取り組みには時間的課題

具体化 農と食自然

・環境のつながり、作って楽しい農業、果実の魅力を伝える



農

「美山地域学校協働本部」設立に向けて

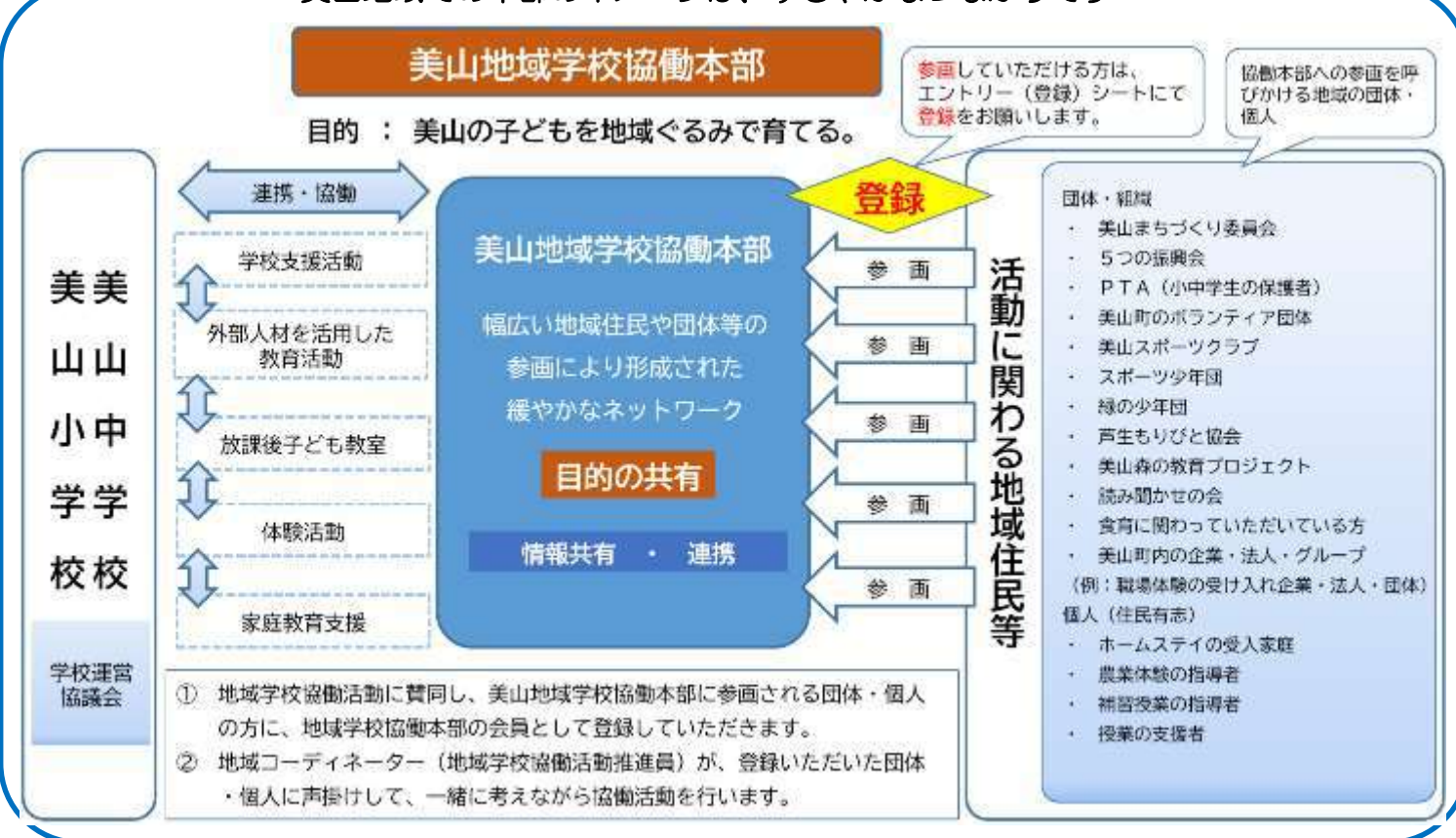
美山中学校は、美山小学校同様に、令和2年度から「コミュニティ・スクール」になります。

コミュニティ・スクールとは学校運営協議会が設置された学校のことです。地域とともにある学校づくりをめざして、美山小学校と美山中学校では先行して合同の学校運営協議会、学校評議員会を開催していますが、4月から正式に美山小中学校運営協議会として設置されることになります。

美山小中学校運営協議会は、5つの地域からそれぞれ子育てや教育に関わりのある方、美山まちづくり委員会、PTA役員、地域コーディネーター、学校教職員、有識者によって構成され、学校運営やその内容について一緒に考えるとともに、美山の子どもたちを地域ぐるみで育てるべく地域学校協働活動を支えます。

令和2年度には、美山小学校、美山中学校での地域学校協働活動を進めていくうえで、受け皿となる地域のみなさんと学校をより良くつなぐために、美山地域学校協働本部を立ち上げます。

美山地域での本部のイメージは、ゆるやかなつながりです



～今後の予定～

令和2年3月 これまで美山小中学校での学びに関わってくださった方々に、美山地域学校協働本部に登録していただきます

令和2年5月 本部立ち上げ式を開催し、皆さんで思いを共有します

令和2年度 美山小学校、美山中学校での授業や校外学習において、地域での学びが必要な際には、美山地域学校協働本部の体制のもと教育活動に参画します

・美山小学校、美山中学校それぞれの地域コーディネーターが、地域と学校とをつなぐ役割を果たし、授業や校外での学習をサポートします。

地域の皆さんには、普段の仕事やボランティアなどで取り組んでおられるテーマを選んでいただき、そこで熟議された内容はこれまで以上に充実したものとなりました。地域での実践者、学校での教員、家庭での保護者、それぞれの視点が合わさり、これからの学校教育活動の現場で活かすための具体的な話し合いが実現しました。どのグループでも、子どもが主体となることの重要性、また6年間を通じた取組であることなど、テーマごとのつながりも見え、実現に向けた重要なキーワードがあがってきました。

募集

☆令和2年度☆

ホームステイ受け入れ家庭を募集します！

日時：令和2年10月1日(木)13:30

～10月2日(金)11:40 終了予定

美山小学校5年生が、2～3名のグループでホームステイさせていただき、受け入れ家庭の皆さんとともに1泊2日・2食の生活体験をします。

・子どもたちは、農村体験を通して自分が住む美山に興味関心を持ち、また、家族以外の方との暮らしの中で、できること、役割を考え積極的に行動すること、さまざまな体験を通して、生活の中でコミュニケーション能力を養うことなどを目的とします。



・地域の方には、美山小学校の子どもたちとの活動を通して、美山町内すべての子どもたちが、自分たちの地域の子どもたちであると感じ、また、子どもたちの学びに貢献しているという、やりがい、生きがいを感じてもらうことを目指します。

光照寺

6年生

川勝光照氏から南丹市地域おこし協力隊まで！

「Pick Up! Miyama! ～歴史に挑む仲間たち～」

6年生は社会科の授業で歴史を学習します。2学期には地域の方にお世話になり、宮島地区島城跡、鶴ヶ岡地区今宮城跡の見学を通して戦国時代の話を知り、美山での当時の様子を知ることができました。3学期には、この地域を治めていた川勝氏ゆかりの光照寺を北川さんの案内で見学しました。このほかにも、美山の特産品や伝統行事、歴史にまつわる事柄をグループごとにまとめる作業を行いました。南丹市地域おこし協力隊の大矢さん嶋田さんのおふたりにチラ



シやポスター、リーフレットの作成について教えていただき、伝えたい対象となる人たちのことを考えながらコンテンツを作成しました。みなさまの手元に届きますように。

大内3年生

カブラ 美山のお宝 WORLD!～地域の力、次なる挑戦は～

2月の参観日、美山学でこれまでに何度も講師としてお世話になっている平屋地区「大内カブラプロジェクト」から澁谷さんに来ていただき、保護者の皆さんと一緒に話をうかがいました。大内カブラはその名の通り、大内地域で作られてきた固有の伝統野菜です。澁谷さんは北桑田高校美山分校で、20年以上も前からこの伝統野菜の復活に取り組んでこられました。8年前にプロジェクトを発足すると、美山町内の学校給食でも大内カブラがメニューに登場しました。



大内カブラの性質は甘く、糖度が8度もあり、フルーツトマトと同じくらいだそうです。一方で、とても繊維質で調理に時間がかかることや、その見た目から広く市場に出回る商品に発展しなかったため、現在はその菜花を商品化されています。

3学期の学校給食では、3月2日の給食メニューとして「菜花のおひたし」が登場しました。ちょうど今、ふらっと美山など地域の売店でも販売されています。ご家庭でも美山固有の野菜を食べてみてはいかがでしょうか。



子どもたちと登下校でつながる

ご存知ですか？
「ながら見守り」

散歩しよう！ 畑に出よう！ 時には一緒に歩こう！

子どもたちの登下校の時間に合わせて、家の外に出てみませんか！

多くの子どもたちはバス通学のため、バス停から家までの距離が長くは

ありません。その短い時間も子どもたちにとっては、地域のみなさんと

つながる貴重な時間です。ぜひ、この時間に合わせて、家の外へ出て

散歩しながら、作業をしながら、子どもたちの見守りにご協力ください。



緊急の学校運営協議会を開催しました

新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校を受けて、緊急の学校運営協議会を開催しました。3月3日から美山小学校、美山中学校が臨時休校となり、この間の子どもたちの居場所はどうなっているか、また、子どもたちの過ごし方について意見交換を行いました。美山では、多くの子どもたちが保護者の皆さんの協力によりそれぞれの家庭で過ごすことができています。一方で、休校措置が長引いた際には、ご家庭での対応も無理が生じてくる可能性があります。そうなった時に、地域ができること、しなければならないことについて学校や家庭と連携して考えていかなければなりません。引き続き、学校運営協議会でもこの課題について協議していきますので、学校を通じてご要望などお聞かせください。

ホームページでは日々の子どもたちの様子を随時更新中です！美山学の取組についても紹介しています。ぜひご覧ください。

